

認知症の早期発見と きめ細かな対応を



塩井川 公子 議員

問 高齢化が進み、地域に認知症の方も増えてきた。家庭や親戚が遠方に住んでいる場合、早期に認知症を発見することが難しい。早期発見と専門医の支援につなげるためにどのような工夫をしていくのか。

答 高齢化率が高い地域は課題も多く、支援体制を充実する必要があるのではないかと。配食サービス、民生委員および地域見守り支援員による見守りなどを行っている。また、地域のひろば事業を通して、地域全体で認知症の方を支える体制の強化を図っている。

問 市民が正しい知識や理解を深め、偏見なく適切な支援を行えるよう認知症サポーター養成講座を実施している。また認知症専門医による早期診断へつなげるため、認知症初期集中支援チームを配置している。医師会医療センターの新病院の開設に併せて、かかりつけ医からの紹介による予約制で検査や治療ができる予定である。

答 今後も地域包括支援センターなどと連携し、認知症に関する各種取組を積極的に進めていく。



詳しくは「はら」で

ごみ処理の更なる取組で きれいなまちへ



植山 太介 議員

問 ごみ処理に関して、今後想定している計画などはあるか。

答 令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、分別収集などの見直しについて検討する。

問 ごみの不法投棄の現状と課題はどうか。

答 環境衛生指導員を任用し、環境パトロールや啓発用看板の設置、不法投棄されたごみの回収を行っているほか、市内全域に環境美化推進員を69人配置し、環境パトロールなどを実施。また広報誌や市ホームページなどを活用して、不法投棄防止に関する啓発を行っている。



建設中の（仮称）霧島市クリーンセンター

その他の質問
・本市の部活動等の環境整備について



詳しくは「はら」で

交通空白地における地域 住民の移動手段の確保を



阿多 己清 議員

問 本市の交通不便地域で、公共空白地有償運送事業を導入できないか。

答 導入には、運転手や安全性の確保が不可欠であり、地域内を運行している交通事業者の理解も必要である。地域住民を含む関係者の意向を調整するなど、地域の実情にも配慮し慎重に検討する必要がある。

※公共空白地有償運送事業とは
バスやタクシーといった公共交通機関が十分に利用できない地域で、地域住民や自治体が主体となり、有償で人を運ぶ仕組み。



有償運送事業で使われている自家用車



詳しくは「はら」で

問 令和6年8月の地震で台明寺水源地に濁りが

高齢者など交通弱者への支援を

地域・事業者・行政一丸で 地域公共交通の発展を



徳田 修和 議員

問 「鹿児島デジワングランプリ2024」で、きりしまMワゴンがグランプリを受賞したが、今後の計画や展望があるか。

答 受賞は、AIを活用した運行ルートの設定、アプリの導入、キャッシュレス決済などのデジタル分野の先駆的取組に加え、スポンサー制度の導入など持続性を有している点を評価された。今後も運行事業者の協力のもと、デジタルを生かした効果的かつ効果的な移動手段の普及のため、持続可能な地域公共交通の構築を目指していく。



きりしまMワゴン

問 危険な空き家に対する市の対応はどのようになっているか。

答 本市では所有者を特定し、空き家の状態を通知した上で、早急な補修や除却などの対策について助言指導などを行っている。通行に支障があるなど、緊急性を要する場合は道路管理者と協議し、カラーコーンや注意喚起の看板を設置するなどの対策をとっている。

交通量が多く危険性の高い市道の整備について



歩道設置の要望がある市道

問 市道東牧之原線（分遣所前）、牧之原十文字線（福山総合支所前）の歩道を整備する考えはないか。

その他の質問
・中山間地における交通手段の確保について



詳しくは「はら」で

危険な空き家と市道の 対策を



久木田 大和 議員

問 路線延長が長く、国の交付金を活用した事業になることや、用地買収が必要となることから早期の整備は難しい。学校の通学路点検や、地域からの地域まちづくり事業実施計画書を踏まえ、整備の検討を進めていく。

答 路線延長が長く、国の交付金を活用した事業になることや、用地買収が必要となることから早期の整備は難しい。学校の通学路点検や、地域からの地域まちづくり事業実施計画書を踏まえ、整備の検討を進めていく。

市民の平和意識の醸成を

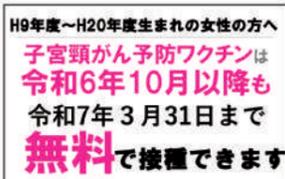


鈴木 てるみ 議員

問 日本被団協がノーベル平和賞を受賞した。一方、ロシアのウクライナ侵攻をはじめとし、核の脅威が高まっている。これまで以上に、市民の平和意識を醸成する取組が必要ではないか。

答 毎年春には特攻隊員戦没者慰霊祭、秋には戦没者追悼式を開催している。また、8月には本庁で原爆パネル展を開催し、平和の尊さ、戦争の悲惨さを伝えている。今後も平和意識の醸成に努めていく。

答 3回の接種を完了するためには6か月間を要することから、6月に個別通知をするともに、広報誌7月号や市ホームページに掲載した。



H9年度～H20年度生まれの女性の方へ
子宮頸がん予防ワクチンは
令和6年10月以降も
令和7年3月31日まで
無料で接種できます

問 HPVワクチンは子宮頸がんをほぼ予防できるともかわらず、以前として低い接種率が続き

その他の質問
・内部統制の整備によるリスクマネジメント強化について



詳しくは「はら」で